

宮崎大学医学部附属病院 内分泌・代謝内科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

内分泌内科および代謝内科は、内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野(第三内科)が担当する分野で、卒業3年目以後の後期研修医が総合内科専門医としての知識や技能の習得、専門医資格の取得に必要な臨床実績や研修期間を得ることができます。宮崎大学医学部附属病院は宮崎県唯一の大学附属病院であるため、県内の医療機関から診断や治療に苦慮する症例が多数紹介され、市中病院で経験することが難しい興味ある症例を担当できます。内分泌内科は間脳下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患、膝腫瘍、性腺疾患を対象とし、甲状腺外科、脳神経外科、産婦人科や泌尿器科と連携して術前診断やホルモン補償治療を行います。代謝内科は糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドロームを対象とし、眼科や腹部外科など院内外科症例の周術期管理や県内から紹介される糖尿病性ケトアシドーシスの急性期管理を行います。24時間持続血糖モニタリングシステムやニューロメーターなどの最新の機器を用いて、症例毎に細やかな治療方針の決定や合併症の評価を行うことができます。さらに、臨床と基礎研究を結びつける橋渡し研究としてグレリンの糖尿病性神経障害改善に関する臨床試験を実施しており、臨床医としての幅広い知識と論理的な思考力を身につけることが可能です。

2. 研修目標

【一般目標】

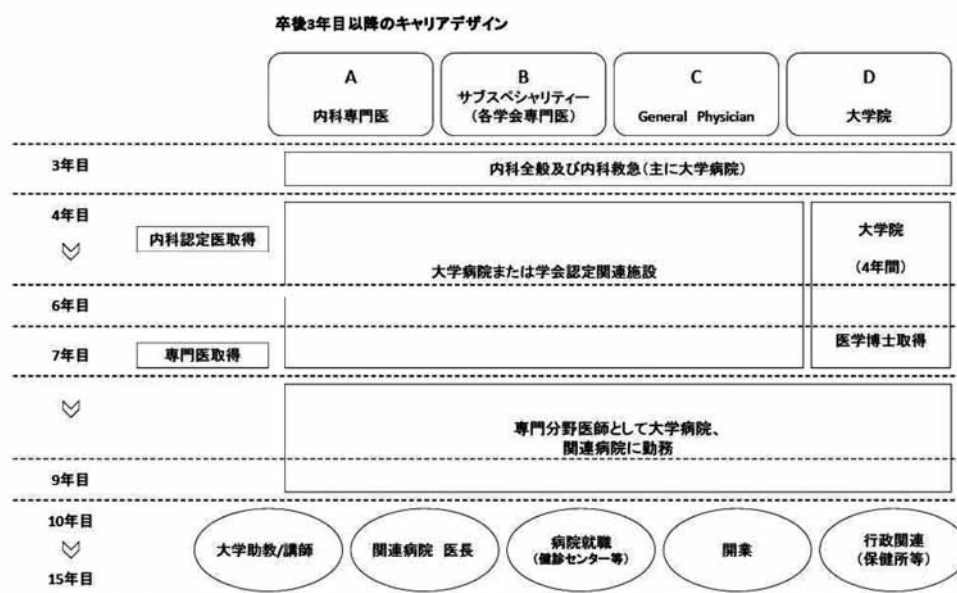
内分泌内科:ホルモンの変動による身体所見や検査データの異常からホルモン作用異常を疑い、病態生理を考えながら内分泌検査を組み立てて診断し、治療をすることができる。

代謝内科:糖尿病、脂質異常症、高血圧症、肥満症およびメタボリックシンドロームの適切な診断、生活指導や治療、合併症への管理など長期にわたる代謝疾患の診療を行うことができる。

【行動目標】

- ①各種ホルモンとその生理作用の理解
- ②内分泌疾患の診断と治療
- ③糖尿病の診断と治療(生活指導など)
- ④糖尿病の合併症管理
- ⑤脂質異常症、肥満症、高尿酸血症、高血圧症の診断と治療

3. 研修スケジュール



内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野では、卒後3年目以後の研修過程で、内科認定医・総合内科専門医、糖尿病専門医、糖尿病療養指導医、内分泌代謝専門医、甲状腺専門医、および医学博士取得に必要なプログラムを準備しています。

4. 評価

日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医や日本甲状腺学会甲状腺専門医の取得

最終的には、各専門医試験(筆記、面接)合格や学位取得で評価される。

糖尿病専門医は3年間、内分泌代謝専門医は4年間、甲状腺専門医は5年間当科での研修後に受験資格年数を得る。

5. 募集人員

4名(代謝内科2名、内分泌内科2名)

6. 実施責任者

宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 教授 中里 雅光

7. 指導責任者

宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 講師 山口 秀樹(内分泌内科)

宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 助教 上野 浩晶(代謝内科)

8. 関連施設、学会認定状況

関連施設:宮崎県立日南病院、古賀総合病院、市民の森病院、古賀駅前クリニック、延岡市医師会病院

学会認定状況:日本内科学会認定教育施設、日本糖尿病学会教育認定施設、日本内分泌学会教育認定施設、日本甲状腺学会教育認定施設、日本肥満学会教育認定施設

9. その他

待遇:附属病院勤務の場合は医員待遇(宮崎大学医学部附属病院非常勤医師)となりますが、医局が斡旋する外勤があり、経済的には十分に保障されます。関連病院勤務時は、その病院の給与体系に基づき給与が支給されます。

10. 連絡先

宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野

TEL:0985-85-2965 FAX:0985-85-1869

内分泌・代謝内科担当 山口 秀樹

E-mail:yamahide@med.miyazaki-u.ac.jp